



学校だより

No. 12 さいたま市立神田小学校
令和7年2月28日発行 Tel (853) 4377
URL : <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を
たくましく生きる神田の子
・かしこく・たくましく・あたたかく

蕾から花へ

校長 中村 誠

早いもので2025年も2ヶ月が経ち、あと1ヶ月で新年度となります。明るく元気な子どもたち、笑顔で迎えていただいた保護者の方々、いつもあたたかく見守って優しく激励を下さった地域の皆様、神田小学校にかかわるすべての人たちのおかげで令和6年度をここまで走り切ることができました。全ての方々に感謝するとともに、令和6年度の締めくくり令和7年度の新たなスタートを切っていきたいと思えます。これからも御理解と御協力のほど、何卒お願い申し上げます。



開花するためにじっと養分を蓄える桜の蕾

さて、この季節になると待ち遠しくなるのは桜の開花です。3月ごろになると、毎年桜の開花情報がメディアで取り上げられることなどから、桜というのは日本人にとって特別な花なのだいつも思います。ところで、桜の花の蕾はいつごろからできると思いますか。実は、開花する前年の夏には蕾ができ始めます。夏に蕾が形成され、秋に一旦休憩し、冬となって寒さで目覚め生長を始めるそうです。春に花が咲くまで実に半年以上の期間、蕾の中で生長し準備をしているのです。令和6年4月の学校だよりにて、私は本校着任にあたり「1年を通して必要に応じ手をかけじっくりと桜を育てる桜守という仕事は、教育に通じる」というお話をさせていただきました。桜の蕾を子どもたちに例えるのであれば、蕾から花へとなるまでの長い期間を、私たち教育者は「桜守」となり、綺麗な花を咲かせていくために育てることが使命だと考えています。大きく育つために栄養を与えていくとともに、風や寒さなどの困難に耐えられるよう時には支えてあげることも必要です。6年間じっくり力を蓄え、蕾から綺麗な花となって咲き誇りこの学校を巣立って行ってほしいと願い、慈愛をもって育成していく決意です。

先日、6年生では「はばたきの会」が行われました。子どもたちは、これまでの成長と家族への感謝を胸に精一杯発表しました。当日発表することができなかった子もいましたが、その子どもたちも含め、全ての6年生が未来への希望を胸に卒業へ向かって行ってほしいと強く願っています。そして、1年生から5年生、これから来る新入学の子どもたちにも、来年度への希望をもてるよう今年度の教育活動を着実に進めてまいります。



6年生「はばたきの会」の様子

今後も、未来の宝である子どもたちが、綺麗な花となって咲き誇ることができるよう、変わらぬ御支援の程お願い申し上げます。